



5 万分の 1 地質図幅の新刊

越後湯沢 ECHIGO-YUZAWA

5 万分の 1 地質図幅
地域地質研究報告

著 者 茅原 一也・小松 正幸・島津 光夫
久保田善裕・塩川 智

発 行 工業技術院 地質調査所

取 扱 先 東京地学協会 (03)261-0809 262-1401

新潟・福島・山形・群馬の 4 県にわたる地域は 5 万分の 1 地質図幅の大きな空白地域として取り残されており これを埋めて行くことが各方面から要望されていた。しかし地形の急峻と地質の複雑が障害となっていたが 幸いに今回本図幅が新潟大学における多年にわたる研究蓄積を基として茅原教授を始めとする研究者の執筆により完成し 発行されたことは誠に悦ばしい。

本地域は新潟―群馬両県の県境に当たり 谷川岳がすぐ南にあって 清水トンネルがその下を貫通している。最も古い地層は上部三畳系の奥利根層群・下部ジュラ系の岩室層であるが これらの地層も更に新第三系も 白亜紀と中新世末期の花崗岩類・石英閃緑岩類によって貫かれ複雑を極めている。この上越帯の大観は文中の地質略図にもよく示されている。更に中央部には飯土火山がまともであって 苗場火山の東腹と共に地質を多彩なものとしている。

奥利根層群 岩室層を貫く蛇紋岩・花崗岩類は構造帯を特徴づけている。図幅中央にある白亜紀の大源太花崗岩を貫く数百本の変輝緑岩・流紋岩・文象斑岩等の岩脈群は見事な配列を示している。

地域内の中新統のうち城内層群・松川層・白坂層・清津層・上野層・大沢層・薄沢層は西部の魚野川沿いに分布し 谷川岳の高所には茂倉岳礫岩層・大障子ノ頭玄武岩層・水上層群などが載っている。これらはいずれも中新世の深成岩・半深成岩貫入岩によって貫かれ 大きく変位しているのものでその復原・対比には多大の労苦を伴ったものと推察される。

鮮新統及び更新統は西田尻層(西山層相当)と魚沼層が北西部にわづかに分布するが 飯土火山について今回特に詳しく記載され 公表されたことは画期的なことである。

応用地質においては特にトンネル地質に力が注がれ 新清水トンネル 上越新幹線大清水トンネル 同湯沢トンネルの地質について記載され 鉄道建設公団の好意による大清水―湯沢―石打トンネルの地質縦断面図が添えられている。

既に周辺の八海山図幅 藤原図幅が困難極まる状況の下に調査中であり 更に北へ続く十日町図幅 小千谷図幅も取り上げられる予定で 5 万分の 1 地質図幅の空白地域に対する努力が着々と続けられている。

地質ニュース

昭和57年3月1日

編集
発行人
発行人
印刷

総発売元

第331号 3月号

定価 ¥540 千実費

発行

工業技術院 地質調査所

林 久雄

株式会社 久業公報社

東京都千代田区九段南4の2の12

Tel. (03) 265-0951 (代表)

振替口座 東京 32466

大蔵省印刷局 政府刊行物仕入部

東京都港区赤坂葵町2

Tel. (03) 582-4866